

地域ブランド「SUWAプレミアム」

取組内容

諏訪市はかつて「東洋のスイス」と呼ばれ、古くから精密機械工業の集積地として発展してきた。その中核を担うのは、部品加工を中心とする下請けの中小企業であるが、新しい技術や進取の精神で事業にあたってきた伝統を有し、部品加工に留まることなく自社ブランド商品を開発する意欲のある企業も多いのが特徴である。

そこで、戦後からの技術や情熱を受け継ぐ作り手（製造事業者）と、新たな作り手であるクリエイター・デザイナー、売り手などの多様な職種の人々が集まり、官民連携の「SUWAブランド推進委員会」を設置し、新しい地域ブランドである「SUWAプレミアム」を立ち上げるに至った。

諏訪地域で開発、製造、制作された商品に対してブランド認定を行う制度を設け、各種専門家で構成されたブランド推進委員会によって審査が行われる。令和3年4月現在、認定事業者は45者、認定品は延べ93品目に達している。また、「SUWAプレミアム」の旗艦店が所在するSUWAガラスの里は、多くの観光客が訪れる人気スポットとなっている。

コロナ禍となった令和2年は、これまでも対応していたネット販売やEコマースに一層の力点を置き、ホームページのリニューアルやPR動画の作成、さらにターゲットを効果的に絞ったネット広告を活用して発信したところ、年間ベースの実績では過去最高の売上額を記録するに至った。

評価のポイント

地域特有の高い技術力を生かし、官民連携して「SUWAプレミアム」のブランド構築に取り組み、商品の販売実績や、旗艦店への観光客集客など、ビジネスとして確かな実績を残していることが評価され、経済産業大臣賞に選定された。



<プレミアムショップ旗艦店内(ガラスの里)>



<SUWAプレミアム認定品の一つ
「超高精度金属砂時計」>



<ワークショップモニターツアーでの
プレミアム品紹介風景
(果汁搾り機「カジユッタ」)>



<東京国際ナショナル・ギフト・ショー出展>